

福祉教育委員会記録

1 日 時 令和2年3月19日(木)

午前11時43分 開会

午後 0時09分 閉会

2 場 所 第2委員会室

3 出席委員

委員長 田 窪 秀 道 副委員長 伊 藤 嘉 秀

委員 小 野 志 保 委員 米 谷 和 之

委員 河 内 優 子 委員 藤 田 幸 正

委員 近 藤 司

4 欠席委員

なし

5 説明のため出席した者

・福祉部

部 長 藤 田 憲 明 総括次長(健康子育て推進監) 櫻 木 俊 彰

介護福祉課長 久 枝 庄 三

・教育委員会事務局

教育長 高 橋 良 光 教育委員会事務局長 加 藤 京 子

総括次長(文化振興課長) 桑 原 一 郎 次長(教育力向上推進監) 中 上 郁 夫

次長(学校教育課長) 井 上 毅 次長 田 中 利 季

学校教育課指導主幹 高 須 賀 美 雪

6 議会事務局職員出席者

議事課副課長 美 濃 有 紀

7 本日の会議に付した事件

別紙付託案件表のとおり

8 会議の概要

開会 午前11時43分

●田窪委員長：〈開会挨拶〉

○教育長：〈挨拶〉

(1) 付託案件審査

◎教育委員会関係

◇議案第31号 令和元年度新居浜市一般会計補正予算(第6号)

○桑原教育委員会事務局総括次長(文化振興課長)：〈説明〉

〈質 疑〉

●藤田委員：確認だが、新年度当初予算約3億3,000万円のほかに今回の補正約3億400万円なのか。

○井上教育委員会事務局次長(学校教育課長)：タブレットの導入については、3クラスに1クラス分程度分については地方財政措置されるということで、市町村で整備することとなっているため、当初予算に計上している。残りの3分の2の部分については、今回国庫補助の対象になったため、対象の小学校5年生、6年生、中学校1年生のタブレットについて、今回の補正予算で対応している。今回の補正予算については、校内の増強を図るということで、校内にLANケーブルを敷設しているが、より新しいものにも対応できるようカテゴリーを上げるといった中で、増強するための費用と、タブレットを導入するに当たりタブレット充電保管庫が必要になるため、その電源と充電保管庫について、1人1台になることにも対応するタブレット充電保管庫を整備する。

●藤田委員：当初予算で3分の1整備して令和6年ぐらいで調整すると言われていたが、補正予算で全部できるということか。

○井上教育委員会次長(学校教育課長)：今回の補正で小学校5年生、6年生、中学校1年生、令和3年度が中学校2年生、3年生、令和4年度が小学校3年生、4年生、令和5年度が小学校1年生、2年生について1人1台のタブレットを整備する。

●藤田委員：まとめると、小学校1年生から中学校3年生までの9年分で、当初予算でどれくらい、補正予算でどれくらいなのか。

○井上教育委員会事務局次長(学校教育課長)：当初予算で小学校1年生から中学校3年生までの全体の約3分の1を整備し、残りの3分の2について年度ごとに整備していく。今回の補正については、小学校5年生、6年生、中学校1年生の3学年を整備する。令和3年度に中学校2年生、3年生の2学年、令和4年度に小学校3年生、4年生の2学年、令和5年度に小学校1年生、2年生の2学年を整備し、最終的に9学年を網羅するという流れである。

●藤田委員：保管庫や校内LANの増強は、タブレットを整備するたびに必要になるのか。

○井上教育委員会次長(学校教育課長)：今回のネットワーク整備に合わせてタブレット端末の電源と充電保管庫は一斉に整備する。

●藤田委員：あとはタブレットだけの整備でこの事業は終了するということか。

○井上教育委員会事務局次長(学校教育課長)：その通りである。

●伊藤委員：児童生徒はタブレットを持ち帰らないということか。

○井上教育委員会事務局次長（学校教育課長）：将来的に1人1台になったときは、持ち帰りも可能な方法を検討するが、現在は学校に設置して学校で共有して使う予定である。

*後刻一括採決

休憩 午前11時54分／再開 午後11時55分

◎福祉部関係

◇議案第31号 令和元年度新居浜市一般会計補正予算（第6号）

○櫻木福祉部総括次長（健康・子育て推進監）：＜説明＞

＜質疑＞

●藤田委員：高齢者施設防災改修等支援事業補助金は、応募があったのか。どういう支援の仕方がか。

○久枝介護福祉課長：国の補助事業であり、特別養護老人ホームやグループホーム、ケアハウス、介護老人保険施設など高齢者の福祉施設に対して耐震や非常用電源等の施設整備の補助が出る。今回国から要望調査が12月にあり、市内の全施設に自家発電について整備する予定があるか希望調査した上で、希望のあった2カ所を補助要望した。

●藤田委員：ほかに希望はなかったのか。

○久枝介護福祉課長：2カ所以外に希望はなかった。

●藤田委員：ほかの施設は整備できているのか。この補助事業は続くのか。

○久枝介護福祉課長：市内の特別養護老人ホームでは、16施設のうち6カ所が整備済みであとは整備できていない。グループホームでは30カ所のうち3カ所が整備済みであとはできてきない。国としては、大規模災害時には非常用電源が必要なため整備するよう呼びかけており、そのための必要な支援は行うと言っているため、補助事業は続くと思われる。

●近藤委員：自家発電が対応できていない施設がたくさんある中、大規模災害がおこったときに電気が使えないと大変だと思う。対応できていない施設はどういう理由か。補助率が少なく持ち出しが多いためか。最終的には全て自家発電を整備しないといけないと思うが半分以上できておらず、市として全て整備するまで指導するのか。

○久枝介護福祉課長：未整備の施設については整備を促し、国、県についても引き続き支援を要望しようと思う。今回は基準費以内におさまっているため全額補助であり、活用しないのはもったいないため活用したい。ただし、希望が多いと全て内示がもらえるかはわからないが、引き続き、立派な設備でなくても身の丈に合った設備を整備するようお願いしたい。

●米谷委員：全額補助であれば希望が多いはずだが、なぜそうならなかったのか。

○久枝介護福祉課長：短期間での応募が必要だったことも要因だと思う。12月に国から照会があり、1月から市で取りまとめ、期間が約1カ月であったため、自家発電の設備を立派な形で整備するのであれば、設計や見積もりにかかる時間がもう少し必要だったということもあると思う。ただ、ポータブルな発電機のようなものも補助対象であり、そうしたことも通知はしていたが、希望は2件だった。

●米谷委員：事務処理的に難しかったことはわかるが、ほかにもそういう状況なのか。

○久枝介護福祉課長：他県や全国的な状況は把握できていないが、皆さんに状況をお知らせして要望をとった結果である。必要ないと考えている訳ではないはずであり、今後検討されると思う。別の要因として、市民部で福祉避難所関係に設備を配付する事業があり、発電機も含まれているため希望しなかったところもあるかもしれない。

<討 論>

●近藤委員：半数以上が非常用電源を整備しておらず、財源は全額国庫支出金であるため、残りの施設が全て整備できるまで国へ予算要望するとともに、対応できていない施設にはその旨をPRして大規模災害に備えるよう指導することを要望して賛成する。

<採 決> 全会一致 原案可決

○閉 会 午後 0時09分 閉会

福祉教育委員会付託案件表

令和2年3月19日

○教育委員会関係

議案第31号 令和元年度新居浜市一般会計補正予算（第6号）

第1表 歳入歳出予算補正中	ページ
歳出 第10款 教育費	3・22
第2表 繰越明許費補正 追加	
第10款 教育費	4

○福祉部関係

議案第31号 令和元年度新居浜市一般会計補正予算（第6号）

第1表 歳入歳出予算補正中	
歳出 第3款 民生費	3・16
第2表 繰越明許費補正 追加	
第3款 民生費	4